報道関係各位

2025年7月17日

岐阜県主催「ぎふビジネスプランコンテスト」開催
県内の高校生を対象に地域経済を牽引するプランを募集

新しい産業やイノベーション創出を目的に起業家精神を育む
「岐阜県起業家精神育成プロジェクト事業」として開催

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加瀬典子）は、岐阜県が県内の高校生を対象に開催する「ぎふビジネスプランコンテスト ～キミの挑戦が、ここから始まる～」への応募受付を、2025 年 7 月 17 日より開始することをお知らせします。

角川アスキー総合研究所は運営事務局を務め、岐阜県と共に本事業を推進してまいります。

ぎふビジネスプランコンテスト
GifuBC
キミの挑戦が、ここから始まる

■概要

本コンテストでは県内の高校生を対象に、地域経済のイノベーション創出につながるフレッシュなビジネスプランを募集します。身のまわりの課題はもちろん、ふと感じたワクワクやモヤモヤなど、自分の中にある“なにか”を出発点に、地域社会の課題解決に向けたアイデアを表現してください。

本コンテストの最終プレゼンテーション会場では、岐阜を拠点に活動する人や県外で活躍する人など、さまざまな生き方にふれる時間も予定しています。「こんな大人もいるんだ」「こういう働き方もあるんだ」・・そんな新しい出会いが自分の未来につながるかもしれません。

岐阜県が推進する「岐阜県起業家精神育成プロジェクト事業」として開催する本コンテストで、アイデアをビジネスにする起業家のマインドを感じていただければ幸いです。多くのご応募をお待ちしています。

■応募要項

応募資格

岐阜県内に在住、または在学する、高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校の生徒または学生
※高等専門学校の対象学年は、１年生～３年生のみとなります。
※グループまたは個人での応募が可能です。

応募方法

① 応募フォームから必要事項を入力の上エントリー登録。
② ホームページから「ビジネスプランシート」をダウンロードして記入。
③ 作成したビジネスプランシートを提出。
※ビジネスプランシート提出フォームはエントリー登録時にメールで送信。

▶応募フォーム
https://form.run/@gifu-bc-entry2025
▶ビジネスプランシートはこちら
https://ascii.jp/startup/gifu-entre-event/contest/#sheet-download

応募期間
2025 年 7 月 17 日（木）～10 月 24 日（金）17:00

ファイナリスト発表
2025 年 11 月下旬
厳正なる審査の上、最終プレゼンテーションに進出するファイナリストを 8 組前後選出します。

最終プレゼンテーション
開催日：2026 年 1 月 24 日（土） ※ファイナリストによる最終プレゼンテーションでグランプリを決定します
会場：OKB 岐阜大学プラザ 1 階（〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1）

※詳細は、後日公式サイトで発表します

【基調講演】審査結果発表までの時間に、起業家による基調講演を予定しています。

moily（モイリー）代表 池宮 聖実 氏
2014 年からカンボジアの小さな村で現地の職人たちと共に「かごブランド」を立ち上げ、現在はインドの女性たちと布を使ったものづくりに取り組む。仕事を通じて、現地の貧困や教育などの課題解決を目指し活動。岐阜県垂井町の直営店、オンラインショップ、卸販売、全国の百貨店で商品を展開中。

＜審査員＞（氏名五十音順）

株式会社 ICOMA（イコマ） 代表者取締役 生駒 崇光 氏
桑沢デザイン研究所プロダクトデザインコース卒 。株式会社タカラトミーで「トランスフォーマー」の海外事業を担当。その後、株式会社 Cerevo で Iot 家電製品の開発を行い、 2016 年から GROOVE X 株式会社にて家族型ロボット「LOVOT」 の開発に携わる。2021 年に ICOMA Inc.を創業その後約 2 年半で電動バイクの製品化を達成。

株式会社ヒダカラ 共同代表 舩坂 香菜子 氏
楽天グループ株式会社で EC コンサルタントに従事した後、地域活性マネージャーとして飛騨市役所に出向。2020 年 4 月より、地域の魅力を見つけ輝かせる地域商社、（株）ヒダカラを創業。主な領域は EC・企画・商品開発・マーケティング。2021 年に岐阜県白川村の『深山豆富店』を未来に残すため M&A。地域に、豆腐に、奔走中。

本コンテストの詳細は公式サイトをご覧ください

https://ascii.jp/startup/gifu-entre-event/contest/

岐阜県起業家精神育成プロジェクト事業とは

岐阜県が地域の産業の担い手の育成と、経済をけん引する新しい産業やイノベーションの創出のため、未来を担う中高生を対象に開催するアントレプレナーシップ（起業家精神）を育む取り組みです。中高生の皆さんが社会に出たときに必要とされる、身近な課題を発見する力、課題解決のアイデアを考える創造性、他者と協力して行うコミュニケーション力などを学び、どのような進路や職業を選んだとしても必要となる「これからの社会を生きる力」を育むことを目的としています。

株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を活かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、お客様の課題解決に取り組みます。

公式サイト：https://www.lab-kadokawa.com/

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】
株式会社角川アスキー総合研究所　広報担当 堀
press-cp@lab-kadokawa.com